

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>&lt;学習上の課題&gt; 昨年度の市学力調査で、学校全体として家庭での学習の時間は確保されているが、基礎的な学習内容の習得状況に二極化が見られる。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 基礎的な知識・技能の力を高めるための反復練習の時間を十分に確保できていない。</p>	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TPC端末でデジタル教材のドリルパークやスタディサプリ等を積極的に活用し、漢字や英単語、計算など基本的な知識・技能の定着を図る。【単元ごとの実施】</li> <li>・授業や単元ごとにスクールタッチボードなど生徒が自らの学びを振り返る時間を設定し、次の授業に生かせるようにする。【毎時間～単元ごとの設定】</li> <li>・生徒の習得状況に応じて個別に学習計画や支援を行う時間を設定する。【学期に一度の実施】</li> </ul>
思考・判断・表現	<p>&lt;学習上の課題&gt; 記述式問題や自分で考えて答える問題に対して消極的な生徒が多くみられる。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 答えにたどり着くまでの過程を説明したり、答えを教え合ったりする時間や単元のまとめで学習の成果を発表する機会が十分ではない。</p>	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の授業において、生徒同士が協働的で主体的・対話的で深い学びの中で思考力・判断力・表現力を高められるように、単元ごとに生徒同士の教え合いや、課題についてグループでの話し合い、クラスやグループでの発表等、協働的な活動の時間を設ける。【単元ごとの実施】</li> <li>・各教科の課題において、生徒の成果に至る過程をデジタル教材などに記録し評価することで、生徒の粘り強い取り組みや、自ら調整しようとする態度を高める。【単元ごとの実施】</li> </ul>

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能			
思考・判断・表現			

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価  
 A 8割以上(達成)    B 6割以上(概ね達成)    C 6割未満(あと一步)